ローザンヌ・ユダヤ人伝道協議会 日本支部発行

2020.1

Networking Jewish Evangelism

-部 ¥ 200 2020.1.01発行

〒541-0041 大阪市中央区北浜2-3-10 VIP関西センター3F TEL. 072-867-6721 FAX. 072-867-6721

Eメール lcjejapan@hotmail.com ホームページ LCJEJAPAN.com

郵便振替 LCJE日本支部·00950-4-25633

巻頭言

新年 2020 年 おめでとうございます





クリンゲンスミス LCJE 日本支部支部長 C ·

年頭にあたり、LCJE日本支部に連なるすべての皆さ ま、および、LCJEニュースの愛読者の皆様に神様の最 も豊かな祝福をお祈りいたします。過ぎ去った昨年を振り 返って、皆さまの貴い捧げものとお祈りを心から感謝申し 上げます。皆さまはLCJE日本支部との関係以外に、も ちろん自分の教会の支援と教会生活の責任があります。 そして、キリスト者として様々な働きや働き人、団体を支 援したいお気持ちもあるでしょう。そういう中で、LCJE 日本支部のためにもわざわざ時間をかけて、この機関誌 を読んでくださり、あるいは、振り込みのために郵便局 へ足を運んで下さり、あるいは部屋でイスラエルとユダヤ 人の救いのために祈りをささげて下さったことを改めて感 謝したいと思います。ありがとうございました。主がすべ てに報いて下さいますようにお祈りいたします。

さて、2020年1月1日をもって、人類が不思議な21 世紀の3つ目の10年間に入ることになります。周りの世 界は、新しい 10 年間と共に今までなかったような環境問 題、気候変動問題、監視社会や監視国家問題などと真剣 に取り組まなければならない所にたどり着きました。まし て、「民は民に、国は国に、敵対して立ち上がる。そして、 大きな地震があり、方々に飢饉や疫病が起こる…」(ルカ **21章 10節、11節)**この有様は相変わらず悪化している だけです。

そして、私たち一人一人にも新しい年と共に取り組まな ければならない教会の状況があります。特に地方の教会 には、すぐに見えてくる高齢化と少子化があります。その 背後には、ブレーキを掛けられない人口減少があります。 そして、もちろん高齢化してきた教会員には、いっそう高 齢になった親の世話をしなければならない人が増えてい ます。まして私たち一人一人も身体にはいろいろな衰えを おぼえるところです。

一方、新年と共にさらなる命が与えられています。ここ までの間違った考え方や生き方をやり直して、白紙をもっ て生活を励む新しい時間が与えられます。何よりも今まで 励みたかった信仰生活を励むように青信号が光っていま す。そういうことで、世界の状況はこれからどんなに悪化 しても、教会運営や宣教活動がどんなに困難になっても、 また、自分の身体がどんなに健康を失ってきても、私たち 皆、さらなる恵みの期間にあずかっています。この新しい 年、新しい10年間に入りたくても入れなかった死亡した 人々は少なくありません。恵みを恵みとして感謝しましょ う。それぞれの問題に応じて神様の備えは尽きることが ありません。

さて、あるLCJE 国際大会でエルサレム にあるキングオブキン グス教会のウエイン・ ヒルズデン牧師が次 のように励ましてくだ さった記憶があります。 新年 2020 年にもぴっ たりの励ましになると 思いますのでお伝え しましょう。将来を恐 れる時におぼえましょ う。将来は「敵」では



なくて「友」ですから「友」として楽観的に歓迎しましょ う。それは主イエス様の再臨と支配のある将来だからで す。そして、今の状況の疲れや悲しみや困惑などに襲わ れそうな時におぼえましょう。私たちはここを通過してい る者に過ぎません。

「神は彼らのために都を準備されていたからです。」 ヘブライ 11 章 16 節

今年2020年には、その都への旅路が続きます。一歩 一歩確かなものとして神様が皆さまのために道を開いてく ださるようにお祈りいたします。



置換神学とユダヤ人宣教

チョーズン・ピーブル・ミニストリー代表 ミッチ・グレーザー

翻訳: 駒井洋子

置換神学は次の二つの理由で、ユダヤ人宣教と今日のメシアニック・ジューのキリストの弟子という身分からみて大きな関心事であります。先ず第一に、世俗的背景を持つ多くのユダヤ人のキリストの弟子は、アブラハムとユダヤ人を創造された神がリアルな方でかつ知ることが出来るということが分かり、自分たちのユダヤ人としてのアイデンティティーを再構築するため、第二番目に彼らが友人や家族そして共同体に証しをするため、彼らの歴史を明らかに知ることを必要としている。彼らは、イエシュアに対する信仰によって、ユダヤ人としてのアイデンティティーと共同体を拒絶するのかという議論を常に受け流さなければなりません。

■定義

定義づければ、置換神学では、ユダヤ人は彼らの不従順とキリストを拒絶したことにより、もはや神の計画には何ら役割を果たさないと主張しています。ですから、**置換神学**は二つの核となる信条から成り立っています。すなわち、(1) イスラエルの国(民) は神の民としてもう終了、あるいはその権利を失い、教会から離れて、その唯一無二の役割あるいは機能を二度と持つことが無い。(2) 今や、教会が真のイスラエルとなり、神の民としてのイスラエルは永久的に入れ替えられ、その地位を奪われた。置換神学は新約の教会は、神の民としてのイスラエル国(民)が永久に置き換えられた新しいあるいは真のイスラエルであるという見解を持つものです。

置換神学の主張は、イスラエルの選びは、カルバリで無効にされ、教会に移された。強力な置換神学擁立者は、通常イスラエルは神の計画に何ら関係しないとの見解を持ち、穏健派置換神学者は、ユダヤ人の救いは一つのグループとして神の聖なる計画に入れられるが、約束の地への国家的回復はないとの見解を持っています。この最後の見解は、イスラエルは神の取り消すことのできない恵みと召しの対象であるが、その役割は旧約の約束としての国家(民)的保証をするものではないとしています。イスラエルは神の民として単に教会の一部となるということをだけを確約しています。

私は、LCJEのある人たちが、伝統的に置換神学者として定義付けられる神学的伝統を持つところから集っていることを知っています。伝統は受け継いでいても、個人的には自分の教会や教派の置換神学に共感はしていないというかもしれませんが、そこから出てきているのは確かです。

同様に、私たちは、置換神学という言葉は広い意味を 持っているということも知らなければなりません。そして、 他者から置換神学者と見られている人自身がすべてその ように思っているとは言えません。

■反ユダヤ主義の任務

私はまた、置換神学と反ユダヤ主義が残念ながら常に 同一視されていることを承知しています。私はそうではあ りませんが。確かに、教会史を通して置換神学は反ユダヤ主義の基となりうる、あるいは、なってきたかもしれませんが、そこには必ずしもこの二つの主義が密接な関係にある必要は無いという理由も多数挙げることができます。しかし、いま、このレポートはより広い議題である反ユダヤ主義についてのレポートではありません。

また私は、非置換神学者が旧新約聖書を結びつける、時には強力に結びつけるその仕方に関心があるということをお伝えしたいと思います。それは、新約における旧約の用い方、主張、例えば「旧約は新約を隠し、新約は旧約を現す」というような表明であって、じつに魅力的ではあるのです。しかし、このことは、旧新約の間に預言の成就を見い出すというより、新約聖書は明らかに旧約聖書より優れているという考え方に行き着く可能性を秘めているのです。パウロが旧約聖書について記述しています。

すべての聖書はすべて、神の霊感によるもので、教えと戒めと矯正と義の訓練とのために有益です。・・・ (第二テモテ3:16)

■ユダヤ人福音宣教に置ける置換神学の強い影響

- ・置換神学はユダヤ人のアイデンティティーを破棄する
- ・置換神学はユダヤ人からシオンの希望を奪う
- ・置換神学は旧約聖書を文字通り解釈することを否定する。イエスの再臨の詳細が文字通りに捉えられないのなら、初臨が預言の成就だと言えるのか。
- ・例えば、来るべきエルサレムが真実の都でないなら、 ベツレヘムが真のベツレヘムである と確信することが出来ようか。
- ・置換神学が政治と結びつけば、イスラエルやユダヤ人 に対して否定的な姿勢を作りだす可能性がある。
- ・置換神学は、ユダヤ人が救われる必要があるということ以外、彼らに福音をもたらすことに、もはや神学的起動力はないとして、ユダヤ人伝道の動機を失わせる
- ・置換神学は、意図的か否かによらず、イスラエルのための福音へのサポートを縮小する

■現代メシアニックジュー活動への直接的脅威

置換神学は、現代メシアニックジュー活動、ユダヤ人 福音伝道に対して直接的脅威を与えています。このこと は、次に記した多くの異なる眺望からの考察からも伺われます。

■ユダヤ人のアイデンティティーと福音伝道

先ず、ユダヤ人に、イエスについて語ることはより困難です。というのも、ユダヤ人が持っている主な反論の理由は、ユダヤ人がイエスを信じるならば、もはやユダヤ人ではないということです。言い換えれば、ユダヤ人主流の共同体から見れば、ユダヤ人にとってイエスを信じるということは、民族的自殺と同等です。この考えは何世紀もかけて形作られてきました。そのため、数世紀の間、イエスを信じるユダヤ人は、教会から、もうユダヤ人的慣習、ユダヤの祭りを行うこと、ユダヤ人共同体に残ってはならないと強く言われてきました。それほどユダヤ人に対するクリスチャン共同体の態度は歴史的置換神学によって形作られているのです。

ユダヤ人共同体は、イエスを信じるメシアニックジューのアイデンティティーを消し去るのに教会と強く連座していました。メシアニックジューは、ユダヤ人共同体から、ずっと隅に追いやられ、ぞんざいに取り扱われ、拒絶されてきました。

イエスを信じたユダヤ人は、何世紀にもわたって家族を去り、共同体から去るよう「強制」されてきたと気がついています。事実、置換神学と主流ユダヤ教は、メシアニックジューのユダヤ人のアイデンティティーと帰属を軽んじることについては協力者でありました。これは不幸なことです。

近代ユダヤ人宣教、現代のメシアニックジュー運動は、 イエスを信じるユダヤ人に、彼らの共同体や伝統への係 わり合いを保ち、旧新約聖書の真理に矛盾することの無 いユダヤ人の慣わしに参加するよう勧めています。イエス を信じるユダヤ人は、一般的にメシアニックジューと呼ば れ、社会的にユダヤ人共同体に留まり、真実と証しとして 同胞ユダヤ人から距離を置くことのないように勧めていま す。もし私たちが、神はユダヤ人やイスラエルの地にもは や計画を持ってはおられないと主張する歴史的、発展的 置換神学を肯定するなら、ユダヤ人を招き、彼らのメシア として受け入れることを勧めることなどできるでしょうか。 置換神学は、嘆かわしいことに、ユダヤ人信仰者に自分 のアイデンティティーを捨て去るよう教会の入り口の前で 無理強いしています。この置換ということは、ユダヤ人に とって、イエスに従うということは、ユダヤ人共同体の生 活から自主的に出て行かせることになり、ユダヤ人宣教を ほとんど不可能にさせるものです。

■シオンの希望への聖書的根拠を取り去る

置換神学は、教会の、私たちの批評の、いかなる現行の神学的状況、あるいはユダヤ人やイスラエルの地に対する「契約によって正しい」ことを否定する福音的パレスチティナ人などの神学的基礎を築いてきました。事実、置換神学は、数千年にもわたりユダヤ人が大切に守ってきたシオンの希望に対する聖書的根拠を取り去っています。こ

のユダヤ人の民族的贖いへの希望はアブラハム契約に基づいており、ヘブル語聖書の数百もの節に明確に記されたおり、新約聖書にさえ肯定されています。特に使徒パウロによるローマ書11章はユダヤ人アイデンティティーにとって欠かせないものです。民族的贖いの希望は、ユダヤ人の生活の基礎構造から取られてはならないし、シオンの希望はユダヤ人存在の核心として、神学から取り去られてもいけないのです。

置換神学は、キリスト教にもう一度ユダヤ人を敵として 位置づけるものです 神学的にユダヤ人の民族的未来を 抹消し、彼らが神に拒絶され、彼らに与えられたと信じて いる契約が、何世紀もの間、制度に則って彼らを迫害して きた教会によって成就したという教義の信仰をユダヤ人は 受け入れることなどあるでしょうか?

■ユダヤ人宣教の敵

置換神学は、個人として、民族としてのユダヤ人の個性とアイデンティティーの基礎を破壊するものとしてずっと、 そして常にユダヤ人宣教の敵でありました。

また、置換神学は、福音的パレスチナ人クリスチャンとイスラエルのメシアニックジューとのあいだの真の和解に対して敵対するものです。例えば、夫婦の争いにおいて、互いの平和のために夫、あるいは妻にそれぞれの性別を放棄するように迫るようなことを想像してみてください。また、パレスチナ人クリスチャンに、イスラエルのメシアニックジューと平和的関係を築くために、彼らのパレスチナの遺産や政治を否定するように要求するのは有り得ないことです。

これこそが、私たちがイスラエルの内外のメシアニックジューに、キリストのみからだの内にあって平和と一致のために行うように要求していることなのです。しかし、メシアニックジューに、彼ら自身の神学的存在を明確にすることを要求することは、非現実的なことです。単に国際連合の決定だけで、聖書的権限なしに、ユダヤ人の国に住む権利を認めることは人を馬鹿にしたことで、ユダヤ人やイエスを信じるユダヤ人信仰者は、これはユダヤ人にとって破壊的であった歴史的キリスト教の勝利主義のもう一つの例だと考えることでしょう。

イスラエルの国と地は、大方のユダヤ人にとって大変重要なもので、それはメシアニックジューにとっても同じことです。あるクリスチャンは、イエシュアへの信仰は、イスラエルをサポートする重要性において、何か民族的ユダヤ人アイデンティティー軽減するのではないかと思うかもしれません。文字通リシオンへの愛は、メシアニックジューにとって、他のユダヤ人と同じく、彼らのアイデンティティーの一部となっています。そして、みことば(聖書)の権威への信仰のゆえに、シオニズムは、同時代のユダヤ人コミュニティーの歴史と政治に根づいたシオニスト信仰者より、聖書的忠誠に関しては遥かに大きいのです。

(紙面掲載のため一部をカットして紹介しています。全文 訳はウェブにて掲載しています。)



今年は成田からテルアビブに直行定期便が就航!

シォンとの架け橋 石井田 直二

歴代の日本駐在イスラエル大使の悲願だった、イスラエルと日本の定期直行便が 2020 年 3 月から就航予定です。直行便の就航は、新たな宣教のチャンスでもあるようです。

■年々増える双方向の旅客数



2020年には5万人に達する勢いです。

その多くは観光客。近年イスラエルでは、日本に関する 話題がメディアで報じられるようになりました。日本の工業 製品の知名度や、寿司、アニメ文化の人気も、はるか「地 の果て」にある日本への関心を高めているようです。

一方、日本からイスラエルへの訪問者数も増加傾向です。 ガザ侵攻作戦の翌年となる 2015 年に1万人を割り込んだ 後、少しずつ回復して現在は年間2万人に達しています。こ うした増加には、イスラエルを愛するクリスチャンの増加も 貢献していると思われます。

しかし、両国の関係は、観光や聖地巡礼だけではありません。ビジネス上の関係も、近年では急速に深まっています。ここ十年間で、日本からイスラエルへの投資は非常に活発化しており、損保ホールディングス、三菱グループ、トヨタや楽天などがイスラエルのスタートアップ企業への投資を行っています。また、東芝はテルアビブに拠点を設け、サイバーセキュリティ関連の人財確保を目指しているとの報道も。最近、中国はイスラエルへの投資を拡大していますが、関係者によると、日本の投資額の方が大きいといいます。

同じことを着実に実行し、少しずつ改善して行くのが得意な日本人と、新発想で革新的な技術を生み出すのが得意なイスラエル人。文化の違いさえ乗り越えれば良いパートナーになれるのです。

■エルアルの直行便は使えるか?

まずは気になる航空券の価格ですが、格安運賃ではスーツケースの運搬料金が別途になり、機内席の事前指定が有料になるなど、エルアル独特の運賃体系があるため、単純には比較できません。しかし、現在、日本発の聖地旅行が良く利用している大韓航空やキャセイ航空に比べて若干、高めになるというのが、多くの人の見方です。さらに、首都圏以外から出発する人にとっては、成田空港まで移動するのに、余分な時間と費用がかかるため、たぶん他の航空会社の方が便利だと思われます。

しかし、首都圏から出発される方にとっては、エルアルの

直行便は選択肢の一つ。何といっても時間が短いのが魅力です。3月11日からしばらくは、やや不定期な運行ですが、3月29日からは夕方4時に成田を出発してその日の夜に現地に着き、帰りは現地を夜9時頃に出発して翌日午後の早い時間に帰国する形で固定されます。これはかなり楽です。エルアル航空の特徴は、乗客の過半数がイスラエル人であること。機内は独特の雰囲気です。これが利点となるか、欠点となるかは乗る人の好み次第ですが、機内で隣席のユダヤ人と会話できる可能性が高くなることは確かでしょう。

■福音を伝える新たなチャンス



就航でますますそれが現実のものになっています。あのカンファレンスで紹介されたシステムHITに登録して、実際にイスラエル人のゲストを迎えておられる方々も。しかし、その方々は神学的な違いなどから、ほとんどLCJEに参加しようとされません。

一方、LCJEネットワークに加盟するチョーズン・ピープル・ミニストリーズでは、テルアビブ近郊の宣教センターで日本文化祭を開催し、未信者のイスラエル人を招くというプロジェクトも実施しています。日本文化祭は人気だったのですが、諸事情で完全予約制としたため多数の参加希望者を断ることに。そこで、12月に開催された韓国文化祭は自由参加にしたところ、何と80人ほどの参加者がありました。写真のように、会場前では超正統派が陣取って罵声を浴びせていたそうですが、人々は全く気にしていなかったとか。

日本文化の方が、韓国文化よりも人気は高いのですが、問題はパフォーマンスができる若者を送り込める教会が少ない事。多くの宣教師がイスラエルに駐在する韓国の教会と、日本の教会の体力は「けた違い」なのです。なお、少ないながらも、日本からミッションを送り込んでパフォーマンスを行い成功させた例はあるのですが、それもLCJEに参加しない教会が中心なのです。

こうした状況を見るにつけ、LCJEが本来の役割である「伝道の実務で助け合う」という役目をほとんど果たせていない状況は残念でなりません。今年は、たとえ少しでも実際的な伝道の「働き」に役立つLCJEになるようにと願っています。



新しい年の始まりにあたり考えること

アルコ・イリス・ミニストリーズ代表 早川 衛

昨年の9月、握りしめるべきビジョンを求めていた。ある牧師に、そのことを話すと「それは伝道ですよ。」と即答されたのである。筆者は恥ずかしくなった。伝道に重きを置いていなかったからである。それから、機会を捉え、個人伝道に励むようにした。一人で、また家内と共に救われるべき魂に近づくようになった。ある時は、警察署の前で、ひとりの外国人にみことばを語った。その人は、泣きながら、イエスを救い主として受け入れる、と祈った。しかし、そのような人がすべて教会に来るわけではない。だから、訪ねて行く。そして、また、語り、祈る。伝道は、地道な働きである、と思う。しかし、救われた一人が国さえも変えることができる、と信じ、この働きを継続したいものである。

日本は、多くの外国人に直接伝道ができる国である。 昨年の10月のある日、東京のある病院内でひとりのイラン人に伝道する機会を得た。彼も泣きながら、イエスを救い主かつ神の子と宣言する祈りをイスラエルの神に捧げた。彼とは、その後も継続的に連絡を取り合っている。また、読者の皆さまもご承知のとおり、日本は、数万人規模のユダヤ人が毎年訪れる国となった。彼らに直接伝道ができる国、それが日本である。

今は、ユダヤ人伝道の重要性を説く啓蒙活動および執り成しの時期から(勿論、その必要性は存続するのだが)、伝道の時期へと移行している、と思料する。そのようなわけで、先月の LCJE ニュースには、「私たちの力」は、何のために用いるべきなのか?というタイトルで巻頭言を書かせていただいた。

筆者は、LCJE 日本支部の東京祈り会を導かせていただいているのだが、今年は、ユダヤ人伝道に携った経験者から学びたい。そして、伝道を実践したい。そのようなわけで、1月11日(土)の東京祈り会には、エターナル・ラブ・イスラエル代表の宮本純子先生を招き「永遠の愛をもってイスラエルを愛する」といタイトルで、証しとメッセージをしていただく。先生は、日本におけるユダヤ人伝道の先駆者の一人である。先生とその経験から、またユダヤ人に対する愛から多くのことを学ぶことができる、と期待している。東京祈り会が、ユダヤ人伝道の拡大に資するよう祈ると共に、多くの方にご参加いただきたいと願うものである。

さて、昨年、イスラエルでは、2度の総選挙が実施された。しかし、この原稿を書いている今も(2019年12月初旬)、

未だに連立政権が成立していない。したがって、国家を率いるリーダーが存在しないわけである。このことからも、イスラエルは今、霊的暗闇の中に置かれている、と言えるだろう。そして、筆者は、次のみことばを思い出すのである。そのころ、イスラエルには王がなく、それぞれが自分の目に良いと思えることを行なっていた(士師記 21:25)。士師の時代に出色の働きをした一人であるギデオンと彼と共に戦った300人の勇士は、番兵が替わった時、すなわち、敵の守備システムに変更があった時に戦いを始めた。それは、暗闇に包まれた真夜中であった。そして、彼らは、戦いに勝利した。そのために用いられたものは、角笛と空の壺ならびにたいまつであった。彼らは、角笛を吹き鳴らした。それは、敵に恐怖を与えた。空の壺は土で作られていた。たいまつは、暗闇を照らす炎であった。

今、霊的な戦いの中で、敵に恐怖を与える音、すなわち、主への祈りや賛美、あるいは、みことばの宣言を行ないうる者は、イエスをキリストと信じる者、すなわちクリスチャンである。クリスチャンは、土の器である。そして、その中には、炎が、すなわち聖霊が生きておられる。今日を生きるメシアニック・ジューと異邦人クリスチャンにも角笛を吹き鳴らすこと、および、内住の聖霊さまに現われていただくため空の壺を打ち砕くことが求められている。それが具体的に何を表すのかを各自は自問すべきである。

ちなみに、昨年11月14日の真夜中、徳仁天皇によって大嘗祭が行なわれた。彼は、新天皇として、日本の神々に農産物や海産物を捧げた。トップが替わる時、その周辺にあるものも往々にして替わるのである。だとすれば、我が国においても「敵」の守備システムに変更があった可能性があるだろう。

さて、ギデオンは、大勝利を収めた後、イスラエル人から金の耳輪を集めた。それらによって作られたエポデは、後に礼拝の対象となった。また、彼には大勢の妻と側女がいた。側女から生まれた息子にギデオンは、アビメレクという名を付けた。その意味は「私の父は王」である。これらのことから、ギデオンは、お金と女ならびに虚栄に関する罪を犯した、と言える。聖書には、彼が罪を悔い改めた、とは記されていない。彼は死に、残されたイスラエル人が罪にまみれた生活に戻った、と記されているのである。

新しい年の始まりにあたり、筆者は、伝道の必要性、 暗闇の中での勝利、そして神の働き人が警戒すべきこと に思いを向けるべきである、と考える。



♪計り知れない神の麗しい計画♡

メシアの家代表 網本 バフロ

ハレルヤ! 2020 年になっても主の偉大なる計画の中で 私たちは生かされています!!

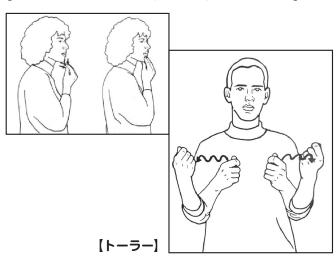
「すべての人は草、その栄光は、みな野の花のようだ。主のいぶきがその上に吹くと、草は枯れ、花はしぼむ。まことに、民は草だ。草は枯れ、花はしばむ。だが、私たちの神のことばは永遠に立つ」(イザヤ40:6~8)

LCJE ニュースレターを読んでいらっしゃる方々の尊いお祈りのお陰で今年もリポートの継続ができることに感謝したいと思います。

2020年スタートを機に今年からリポートの一部に新しいテーマとして「J (ジャパン) ♡ ISL (イスラエル手話) 部屋」を作って日本手話とイスラエル手話の紹介をしたいと思います。なぜならユダヤ人 (ろう者) 伝道に対して興味を持つ日本人ろう者、手話を言語として学びたい聴者が増えてきたからです。世界民族の一部であるデフコミュニティ (ろう社会) に興味を持っていただければ嬉しく思います。どうぞよろしくお願いいたします。

J ♡ ISL 部屋

【イスラエル / イスラエル (ヘブライ) 人 / ユダヤ人】



それから皆さん、改めて再認識をお願いしたいです。ろう者(手話を第一言語とする少数者)の世界人口は聴者と比べて民族的に少なく、イスラエル人(ろう者のアイデンティティーを持つ者)ろう者の人口も約1万5千人しかいません。それにイスラエル人(イスラエルに住んでいる)ろう者以外の、何らかの系統を持つユダヤ人(ろう者)の人口は不明であります。だからこそ日本でイスラエル人ろう者と出会えることはレアなことであり、来日するイスラエル人ろう者が、日本でイスラエル人ろう者に会うことです。現実的に、日本人ろう者が、日本でイスラエル人ろう者に会うこと自体、あり得ないことなのです。神の素晴らしい計画のもと、一昨年のイスラエル旅行がきっかけで神の奇跡が起きました。

去年からイスラエル人ろう者たちの来日が増え、今年 も何人かのイスラエル人ろう者が来日される予定です。去 年 10 月の LCJE ニュースレターに記載したように、ろう 者を中心としたイスラエル人およびユダヤ人(ろう者)伝 道を理念の一つとしている教会グループは、日本でたっ た一つ(メシアの家)だけです。聴者の日本人口より遥か に少ない私たちろう者なのに、まさか神が顧みてくださっ ているとは…。ろう者とは一体何者でしょう。(詩編8:4) 実は、去年の神の奇跡的な出来事はそれだけではなかっ たのです。神の導きの中で私が日本観光のガイドをプラ ンしていたのは3名のイスラエル人(ろう者)だけでした。 全員とも初来日でした。しばらく他のイスラエル人(ろう 者) から日本観光のガイド依頼のメールがなかったので すが、昨年の12月頃、神から私へのハヌカープレゼント のようにユダヤ人(ろう者)との出会いがあったのです。 ウクライナ生まれのアメリカ・ウクライナ系で、なんとユ ダヤ人の血を引く男性が来日されました。彼は教会グルー プとは別の手話コミュニティのグループから講演依頼を受 け、ユダヤ人デフコミュニティの代表として世界中を講演 し周っている大物の方でした。

彼の名前はアルカディ・ベロゾフスキーです。彼は私と同じデフファミリー(ろう者の家族)の3代目で、ろう通訳者&裁判ろう通訳者、アメリカ手話教師、またニューハンプシャー大学マンチェスター校の上級講師・ろう研究共同ディレクター、ブラウン大学アメリカ手話講師&ろう研究コーディネーター、マサチューセッツ州ろう・難聴委員会、緊急通訳者及びUDトークサービスコーディネーター、ロードアイランド州緊急記者会見のろう通訳、ろう歴史、フリーランスろう通訳などグローバルに活躍されている方です。さらに日本でもサハリン残留ろう者のためのコーディネーターとソ連&ロシア手話⇔国際手話の国際手話ろう通訳者として活躍されています。

彼の講演テーマは「大祖国戦争~忘れられないソビエトろう者英雄たちの伝記~」でした。彼の講演に参加したのですが、言葉では言い表せないほどの大衝撃を受けました。まるで神が日本で初公開されたかのような、「隠されたユダヤ人ろう者の歴史」がそこにあったのです。機会があればLCJEニュースレターで、ユダヤ人ろう者についての情報を少しずつシェアできたら、と思っています。さらに鳥肌が立つほど神の導きが続いていました。それは主催であるグループの設立者が私の友人(デフファミリー女性)であったのです。そのおかげで、彼女が私に好意的に、彼のことを紹介してくださったのです。ハレルヤ~! 主の御名を称えよ!!

現在、私たちメシアの家は、LCJE のように、様々なろう者の教会グループからユダヤ人(ろう者) 伝道グループメンバーを増やすために、サラ先生(イスラエル人)、アルカディ先生(ユダヤ人) と連絡を取りながら情報収集に励んでいます。世界デフコミュニティとしてユダヤ人(ろう者) 伝道を行っているろう者メンバーは少ないのです。(ルカ10:2) どうか、LCJE メンバーの皆さんのお祈りとご寄付をお願いしたいと思います。



主よ 人の望みの喜びよ

ハティクバ・ミニストリー代表 高瀬 真理

心と口と行いと生活で(ドイツ語:Herz und Mund und Tat und Leben)BWV147 は、ヨハン・ゼバスティアン・バッハが 1723 年に主日礼拝のため作曲したとされる教会カンタータです。カンタータとはプロテスタントの礼拝音楽の様式で、楽器で伴奏する賛美曲の事です。コラールは会衆賛美という意味です。この讃美歌 BWV147 は 10 曲からなりその最終曲が今日でも賛美されることの多い、「主よ 人の望みの喜びを」という賛美歌なのです。ドイツ語のタイトルは「Jesus bleibet meine Freude」イエスは変わらざるわが喜び。英語のタイトルは「Jesus, Joy of Man's Desiring」主よ 人の望みの喜びよ…これが正式なタイトルと現在はなっています。

バッハから直接伺ったわけではありませんが、作曲するとき4つの事柄に配慮しつつ行ったと聞いています。

1つ目は調性です。音楽には非性質の音階があり、り性質の音階があります。各々明るい音階、暗い音階があります。パッハは主日礼拝を迎えるにあたって非性質の音階にするか、り性質の音階にするかよく祈って決めていたそうです。

#性質は十字架を覚えてその流された血潮の何にも勝る 「恵み」を表したそうです。

b性質は主の謙遜を覚え、その「愛に」喜び、満たされながら五線紙に音符を置いていったそうです。ハ長調・イ短調はこの両特性を持たせています。

2つ目は、音部記号です。ト音記号の事は聖霊が働く記号として用いました。

3つ目は休符です。休符等はそれぞれの賛美の中でのQ・T (静まるとき) として用いたそうです。

4つ目は拍子です。奇数拍子にするか、偶数拍子するか、 複合拍子にするか、祈りつつ主の導きに聴き従ったといわれ ています。教会カンタータをここで見てみたいと思います。

第1部

・第1曲 合唱「心と口と行いと生活で」

ハ長調,4分の6拍子 心と口と行いと生き方で、イエス・キリストを証ししなさい。おそれと偽善を捨て「イエス・キリストこそ神であり、救い主です。」と告白しなさい。十字架と謙遜を表しています。

・第2曲 レチタティーヴォ 「祝福されし口よ」

へ長調-イ短調,4分の4拍子 主の母マリヤは口で主を讃美した。人間は悪魔と罪の奴隷であり、キリストを信じるなら解放されるが、主を拒むならば、聖書のみことばの通り、裁かれる。b性質の賛美主にあって謙遜であるべきと賛美される。

・第3曲 アリア「おお魂よ、恥ずることなかれ」

イ短調,4分の3拍子 イエス・キリストを地上で告白することを恥じる者は、イエス・キリストが栄光のうちに、御使いを従えて来られる時、イエス・キリストによって退けられる。(マタイ 10:33、マルコ 8:38)

十字架と謙遜を表しています。

・第4曲 レチタティーヴォ 「頑ななる心は権力者を盲目にし、 最高者の腕を王座より突き落とす」

ニ短調-イ短調,4分の4拍子(ルカ1章)

b性質の賛美。主の謙遜を賛美しています。

・第5曲 アリア「イエスよ、道をつくり給え」

ニ短調,4分の4拍子 イエス・キリストよ、道を作ってください。 b性質の賛美。主の謙遜を賛美しています。

・第6曲 コラール合唱 「イエスはわたしのもの」

ト長調,4分の3(8分の9) 拍子 幸せなことだ、イエスはわたしのもの。私はこの方をだきしめる。主は、病と悲しみの中にある時に、私にいのちをくださる。イエス・キリストは私を愛し、ご自身のいのちを与えて下さった。どんな時もイエス・キリストから離れることは無い。

井性質の賛美。十字架を覚えるものです。

第2部

・第7曲 アリア「助け給え、イエスよ」

へ長調,4分の3拍子 イエス様。信仰を告白できるように助けて下さい。

b性質の賛美。主の謙遜をこい願うものです。

・第8曲 レチタティーヴォ 「全能にして奇跡なる御手は」

ハ長調,4分の4拍子 エリサベツの胎内にあるときにヨハネは聖霊に満たされた。心が燃えながらも、弱さのうちにあるとき、聖霊がイエス・キリストを救い主と告白させてくださる。(ルカ1章)

十字架と謙遜を味わう賛美です。

・ 第9曲 アリア 「われは歌わんイエスの御傷」

ハ長調 ,4分の 4 拍子 イエス・キリストの奇跡を讃美します。 主の愛の契約は弱い身と□を聖霊の火により強めてくださる。 十字架と謙遜を味わう賛美です。

・第10曲 コラール合唱 「主よ、人の望みの喜びよ」

ト長調、4分の3(8分の9) 拍子 井性質の賛美。究極の「平和」とは何でしょうか?主の十字架と復活です。行いによらず、 只々信じるだけで救われるのです。というみ言葉は「人の望みであり、喜びです」

この賛美曲は、冒頭に休符があり、立ち止まることの大切さを賛美しながら体験することができます。4分の3(8分の9)拍子という複合拍子のなかにも主の恵みを味わい知ることができます。

祝福の賛美は過去・現在・未来へと永遠に賛美されることと主が定められておられるのです。それは神の栄光のみが光輝く時となるからです。

賛美は光「シャカイナ・グローリー」という「目に見える神の栄光」です。この栄光の「光」によって新約聖書のサウロ(後の使徒パウロ)の目を見えなくし、真に見るべきものを見させる光でした。この光なしには、神を知り、神の愛を知ることは永遠にできないのです。

「ことば」であるイエス・キリストこそ目に見える「シャカイナ・グローリー」です。2020年ハティクバ・ミニストリーは主なる神の救いへの熱意(情熱)が感じられる賛美を主にあって今後も続けさせていただきます。



LCJE は、ユダヤ人伝道団体の情報交換ネットワークです。加盟しているユダヤ人伝道団体それぞれの立場・活動を 尊重して、機関紙などに情報を掲載しています。しかし特定の立場・教理などを、LCJE として支持するものではあり ません。読者におかれましては、個々の見識によって提供される情報を判断してくださいますよう、お願いいたします。

■ 2020年度祈祷会予定 🔳

場所	2月	3月	4月	会 場
大阪(6:30より)	13日	12日	9日	北浜スクエア(VIP関西センター8F)
東京(1:30より)	8日	14日	11日	御茶ノ水クリスチャンセンター 8F 811号室

【大阪祈り会にご参加される方へ】第二木曜日午後6時半開始です。

【東京祈り会にご参加される方へ】ご注意ください▶通常祈り会の会場は、811号室ですが、変更される場合があります。 階下の掲示板をご覧になってご参加ください。

> Tokyo 2020 World Mission Conference

世界宣教会議東京2020

~世界宣教の達成とイスラエルの救い~

Back to Jerusalem and Accomplishing World Missions

2020年4月30日(木)~5月3日(日)

私は福音を恥とは思いません。福音は、ユダヤ人をはじめギリシヤ人にも、 信じるすべての人にとって、救いを得させる神の力です。

ローマ人への手紙1章16節

講師:ダニエル・ジャスター/エレズ・ソレフ/ノアム・ヘンドレン/バルーフ・コールマン

場所:ウェスレアン・ホーリネス教団 淀橋教会/参加費:3,000円

【詳しいお問い合わせ】担当:石野様/☎080-5133-4620/Eメール:mtcokuyama@gmail.com

LCJE日本支部2019年11月度会計

収入・献金	Ž	支出・現金
科 目	金 額	科 目金額
献金	147,700	事 務 費 12,800
大阪祈り会席上献金	15,000	NEWSレター製作費 50,120
		郵 送 費 40,000
		郵 便 振 替 手 数 料 4,400
		通 信 費 5,500
		賃 借 ・ 管 理 費 22,000
		高 熱 費 ・ 共 益 費 9,987
		交 通 旅 費 7,000
		祈り会経費 14,000
슴 計	162,700	合 計 165,807
		差 引 残 高 -3,107
前月よりの繰越	24,313	翌月への繰越 21,206

事務局よりのお知らせ

LCJE 日本支部では、皆様からの 御投稿をお待ちしています。インター

ネットでの御投稿、原稿用紙での御投稿いずれも大歓迎いたします。文字数は2000文字前後でお願いいたします。投稿記事は、封書で送っていただくか、LCJEJAPAN@HOTMAIL.COM 又はFAX 072-867-6721まで。宜しくお願い致します。

編集後記

コ・ワーカーの皆様それぞれが主にある素晴らしい新年 2020 年をお迎えになっ

たこととお喜び申し上げます。2020 年度も主の最善を祈りつつニュースレターをお手元へ届けたいと願っております。引き続き編集作業の労苦のこと、経済的な祝福を覚えてお祈りください。今年も多くのユダヤ人が主とお出会いし救い主を受け入れ、救われます様にお祈りください。心注いでイスラエルの平和を執り成しお祈りいたしましょう。コ・ワーカーお一人お一人に主の祝福がありますように。シャローム LCJE日本支部事務局長 高瀬真理

LCJE日本支部は、皆様の尊い献金で支えられています。感謝